

未来キッチンを 考えるヒント

未来のための5つのキーワード

地球にとっても、わたしたちにとっても、あかるくたのしい未来にするために、
みんなのおうちにもあるキッチンに、どんな工夫をしたらいいのかな？
このワークシートで5つのキーワードを学び、自分の考えをまとめてみよう。

「SDGs」のためにみんなは何ができるかな？

最初の「S」は、サステナブル。英語で「持続可能な」つまり「ずっと続けていくことができる」という意味なんだ。
「この地球に住んでいる全員が楽しく幸せに、暮らし続けていける」ように、
こんなことをしていこう！と決めた目標が「SDGs」。食べものが足りなくて困っている人がいたり、
きれいな水を飲めない人がいたり、洪水などの被害にあったり、世界中にはいろいろな人がいるね。
未来のためにキッチンで何ができるか、5つのキーワードから考えよう。

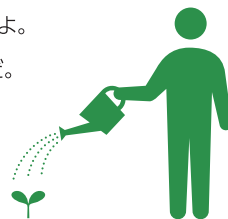
① 水の節約



30年後、8人中5人は水が飲めなくなる!?

みんなが大人になる30年後、世界の人口は80億人、そのうち50億人分の水が足りなくなるといわれているよ。
日本では今、世界平均の2倍の水の量、毎日一人あたり2リットルのペットボトル約150本分も使っているんだ。

水を節約 するため、たとえば、クリナップではキッチンのシンクにレールを作って、
洗いのものをしながらそうじできるような水の流れを工夫したシンクを作っているよ。



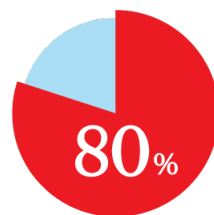
参考資料：環境省「世界の水、日本の水」、厚生労働省「いま知りたい水道」

② リサイクル



繰り返し使い続けることができる素材「ステンレス」

スプーンなどの食器やキッチンに多く使われている「ステンレス」。
食べもののにおいや色が移りにくく、汚れにくいからさっと洗って、サビにも強いから長く使えるんだ。
それに、使い終わっても日本では80%以上、資源に戻して新しい商品として **リサイクル** しているよ。



参考資料：Cleanup Sustainability Report 2022

未来キッチンを考えるヒント

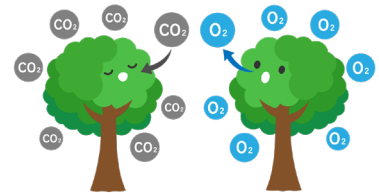
— 未来のための5つのキーワード —

③ 地球温暖化



地球温暖化と気候変動をストップさせるために

地球温暖化と気候変動のスピードがどんどんはやまっている影響を受けて、自然災害が増えているんだ。森林火災もその一つで、森林が燃えると、CO₂を吸収する植物が減ってしまうからCO₂が増え、地球温暖化がますます進んでしまう。こんな悪循環になっているんだ。CO₂を出さないために、キッチンで使う電気やガスや水はどうしたら節約できるのかな？ どんなキッチンだったら実現できるのか考えてみよう。



参考資料：環境省「平成22年版 図で見る環境白書/循環型社会白書/生物多様性白書」

④ 食品ロス



食べられるのにゴミになっていく食べものたち

キッチンごはんを作る場所だけど、ゴミが出る場所でもあるよね。まだ食べられるのに、食べものを捨ててしまうことを「食品ロス」というんだ。日本では1年間に約612万トン(2017年度推計値)もの食料が捨てられていて、これは東京ドーム5杯分とほぼ同じ量なんだ。一人あたりにすると、「お茶わん約1杯分」のごはんを毎日捨てているんだよ。ゴミが出ると、処理をする作業代や電気代がかかり、ゴミを燃やすときにCO₂も出るから、お金や地球へのやさしさを考えても、何もいいことがないんだ。



参考資料：農林水産省「食品ロスの現状を知る」

⑤ おなかいっぱい



世界中のみんながごはんを食べられる社会に

世界全体の人口が増えることや地球温暖化が原因で起こる異常気象によって、食料が今後ますます足りなくなるおそれがあるんだ。つい最近も、日本ではお米が足りなくなっちゃったよね。この問題は世界全体で考えないといけないことなんだ。現在は、環境変化に強い農作物の生産などが研究されているよ。栄養のある食料を、世界中のだれもが十分に手に入れられるような社会を目指しているんだ。



参考資料：内閣府HP「ムーンショット目標5」

かんがえをまとめてみよう!

★★★ いま地球上や身近におきていることで、気になることはなんだろう? ★★★

★★★ 未来の自分のくらしがどうなったらいいと思う? ★★★

★★★ キッチンで何ができれば、いいなと思う? ★★★

→) 料理に関係すること…

→) 料理に関係ないこと…

★★★ キッチンのかたちをを考えてみよう! ★★★



かんがえがまとまったら、絵をかいてみよう!

